

授業科目名	社会保障論	科目コード	K1604F07
英文名	Social Security		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援		
------	----------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	柴田 稔
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日 水曜日	時限	3限目 3限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	4単位

授業の概要	<p>社会福祉士の活動する場はミクロには対象者への支援であり、諸制度との関連を知っている必要度が高い。しかし、制度が十分でなければ十分でないことを声を出して関連機関に伝えるというマクロの面もある。社会保障はライフサイクルのどの段階にもすべて関連する制度であり、「生きづらさ問題」の根源でもある。専門職としての知識とともに自分自身が生きる上での必要な知識であることを理解してもらいたい。ソーシャルワークの実務経験あり。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	自助・共助・公助	少子高齢社会	財政赤字	同一労働同一賃金
-------	----------	--------	------	----------

到達目標	今日の社会保障制度にいたった歴史の学習と社会保障の仕組みを他国と比較しながら理解することができる。(40%)
	さまざまに発生している「社会問題」の根源や解決策と社会保障の関連を理解することができる。(30%)
	その「問題」を自分の生活上のこととして捉え、考えることを学び、ソーシャルワークについて理解することができる。(30%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	21世紀を生きる社会人としての資質・能力(社会性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	社会保障が当面する課題 ・生活者としての自分と社会保障	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	現代社会と社会保障 ・労働者としての自分と社会保障	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	社会保障の概念や対象およびその理念 ・社会保障の概念と範囲について	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	社会保障の概念や対象およびその理念 ・社会保障の役割と意義、理念、対象について	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	社会保障の概念や対象およびその理念 ・日本の社会保障の展開	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	諸外国における社会保障制度 ・欧米の社会保障の歴史的展開と現状－ 1	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	諸外国における社会保障制度 ・欧米の社会保障の歴史的展開と現状－ 2	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	諸外国における社会保障制度 ・欧米の社会保障の歴史的展開と現状－ 3	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	諸外国における社会保障制度 ・欧米の社会保障の歴史的展開と現状－ 4	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	諸外国における社会保障制度 ・欧米の社会保障の歴史的展開と現状－ 5	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	諸外国における社会保障制度 ・アジア諸国の社会保障の歴史的展開と現状－ 1	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	諸外国における社会保障制度 ・アジア諸国の社会保障の歴史的展開と現状－ 2	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	諸外国における社会保障制度 ・社会保障の国際比較、国際化	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	社会保障の財政 ・社会保障の財政、社会保障給付費	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	社会保障の財政 ・社国民負担率、社会保障と経済	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	社会保険・社会扶助・民間保険の関係 ・保険と扶助の考え方	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1) 平常点(10%程度)、前期末試験(60%)、後期末試験(30%)とし、総合的に評価する。 2) 平常点の内容は、出欠状況、出席カードへのコメント記載内容などとする。 ディプロマ・ポリシー配分比率： 社会性40% 専門性60%		
使用資料 <テキスト>	社会福祉士養成講座編集委員会編集 新・社会福祉士養成講座12「社会保障」	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	新聞、インターネット等で社会保障関連の最新話題を確認しておく。		
授業外質問方法	出席カードへのコメント記入に回答することを主とする。		
オフィス・アワー			